

平成18年度 第2次試験 【事例】

AAS解答例

第1問(配点30点)

(a)	商品回転率	(b)	17.23回
(c)	問題点は在庫増加で資産効率が悪化している点である。原因は客層の違いを無視した画一的な品揃えによる売残りが発生したためである。		

(a)	販売費・一般管理費比率	(b)	28.29%
(c)	問題は販管費が収益を圧迫している点である。原因は非効率な人員配置や仕入管理により人件費と商品廃棄損が増加した点である。		

(a)	当座比率	(b)	61.70%
(c)	問題は短期の支払能力が低下している点である。原因は大手コンビニエンスストアとの競合で売上高と利益が減少していることである。		

第2問(配点20点)

(設問1)

(a)	-11百万円
(b)	+9百万円
(c)	+1百万円

(設問2)

D社は、営業赤字や在庫増加による営業活動キャッシュフローの減少を投資・財務活動で賄えずキャッシュが流出している状況である。

第3問(配点20点)

(設問1)

	(a)	(b)
駅前	26.67%	-1.57%
住宅街	33.65%	11.11%
ロードサイド	34.18%	22.78%

(設問2)

店舗タイプ別の貢献利益率と売上高構成比に着目し、D社全体の収益性を向上させる店舗タイプに集中するよう結論を出すべきである。

第4問(配点15点)

投資のネットキャッシュフローが最大となるので、住宅街店舗を1店舗、ロードサイド店舗を2店舗増加させることが最適である。

第5問(配点15点)

(設問1)

POSシステムの発注情報と売上情報を連動させ、一般店員でも在庫情報を把握できるようにすることで仕入・在庫管理を改善する。
--

(設問2)

POSシステムから店舗毎に売れ行きを把握し、顧客層に的確に対応した品揃えを店長が決定して、効果的な商品の入れ替えを行う。
--